



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 1 1

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 3 7 回例会

平成 2 4 年 9 月 1 2 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：我等の生業
3. ビジター：北島芳信君(南砺 RC)



4. 感謝状贈呈：第 2 回米山功労者、小西勝会員



5. 月誕生日：横山豊介会員(20 日)浅田裕二会員(24 日)
長谷川吉美会員(25 日：欠席)



6. 会長の時間：さわやかな季節となった。北島さんの机
上に今月の花を挿した。タカノハススキとミズヒキノ

ウ。ススキは開いたばかりの花やまだ開かない花もあるという新鮮なもの。ミズヒキノソウは小さい花びらが段々に付く。上から見ると赤、裏から見ると白。紅白の水引のよう。高尚だがどこにでもある花。斉藤さんからの新米には感謝します。



7. 幹事報告：①9 月 3 日(月) 2RC 合同ガバナー公式訪問の費用負担について：ミニコンサートは 1 万円のみ、懇親会分 1 人 6 0 0 0 円、ゲスト 2 名分、ニコBOX の 3 万円は当 RC に。② 1 7 日は高瀬神社で剣道奉納大会。第 5 0 回。9 時から開始され野試合もある。



8. 委員会報告：①雑誌広報委員会（助田委員長）：横書き頁の20頁。3・11大震災の苦労実話。R Iからの支援が助かった。縦書きの頁。17頁。会員数20名がデッドライン。この場合は脱退よりはR Cの合併を勧めたい、とある。18頁。病み上がりの陛下であったのに大震災のお見舞いに来られたのには感服②出席委員会：本日 20 名中 14 名出席・メイク1名（75.00%）8月度出席報告【8日 85%、13日 75%、22日 80%、29日 75%】

9. ニコニコBOX(SAA：本日9名 12000円)

横山豊介会員：満82歳となった。

上田会員：斉藤さんに感謝。

小西会員：米山功労者感謝状に感謝、横山豊介さん県人誌掲載をお祝い、斉藤さんに新米贈呈感謝。

坂井会員：斉藤さんに感謝

浅田会員：誕生祝感謝、卓話よろしく。

助田会員：参議院議員佐藤正久氏から大震災に学ぶという講演会を開催。

岩崎会員：誕生日3人にお祝いを

斎藤会員：収穫に漕ぎつけた、新米をどうぞ。

中島会員：ビジターの北島さんにお礼、斉藤さんに感謝。



卓話「新世代のための月間にちなんで」

浅田裕二新世代委員長

浅田会員：ロータリーのクラブの五大奉仕は、クラブ奉仕、

社会奉仕、職業奉仕、新世代奉仕。今月は特に新世代のための月間。新世代奉仕とは指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである、と定款にはある。要点は社会奉仕。地域社会の人々の質を高めるためにロータリアンが行う様々な活動をいう。これには青少年、高齢者、体の不自由な方への支援も含む。例えば、青少年のためサッカー教室、野球教室、植樹や図書館への本の寄付、老人ホームや児童養護施設などへの訪問などで、1923年の社会奉仕に関する声明にも出ている。

ロータリージャパンによると新世代とは、1996年ルイス・ビセンテ・ジアイ元R I会長が初めて使ったもので、2010年からロータリーの第5の奉仕部門となった。ロータリー家族の最も若い世代の人々をさし、インターアクト・ローターアクト・青少年指導者養成プログラムの参加者及びロータリークラブや地区活動に参加している奉仕志向の若者たちが含まれる。

以上、しっかりと新世代の意味をとらえて委員会の方向性を出して取り組みたい。

ついでに、当R Cの年齢構成のプリントを付けておいた。平均年齢65, 3歳。もう1つ人口の資料。県の統計資料。朝日町は最低。砺波市は4人増。県内ではここだけ。でも今は県内も全国でも減となり始めた。

さらに砺波広域圏内の消防のことについて。昨年は小矢部と一緒に。全国で5番目の消防広域化を実現。管内人口は約15万人。理想は30万人だそう。でも無線は高岡市と一本化されたが、高岡市の関係者が砺波圏の地事情に疎くないかという心配がある。火災の出動件数はこの4月から26件。救急出動は2982件。119番の着信が年間4694回。この9月だけでも147回（9月10日現在）。救急車のタクシー代わりが多い。年間5000件のうち5%くらいが、それに該当。この数字が皆さんの消防の認識向上になれば幸い。